

「横浜市立特別支援学校(看護師配置校)医療的ケア等指示書」への**詳細指示書** 3 枚中 1枚目

次の児童生徒の**人工呼吸器使用時の安全確保**について「横浜市立特別支援学校(看護師配置校)医療的ケア等指示書」に本書類および下記書類を添付して補足します。

- ☒添付文書(本書類) ☒人工呼吸器設定数値 ☐メーカー連絡先等
☒簡易説明書等 ☐その他()

記入例、注意点

令和 7年 2月 25 日

記入医師氏名 **横浜太郎**

対象者	氏名	関内 花子	生年月日	平成30年6月2日
人工呼吸器使用の事由等	☒ 気道の確保 ☒ 換気の補助 ☒ ガス交換の維持・改善 ☐ 今後人工呼吸器の使用時間を減らしていく。(見通し等) ☐ 短期的に人工呼吸器からの離脱を目指している。(見通し等) (→ ☐ ウィーニングあり→頻度) ☒ 今後人工呼吸器の使用時間を増やしていく。 (見通し等 高等部ごろまでかかり徐々に) ☐ その他特記事項等 筋ジスの進行により、昨年度より人工呼吸器使用開始した。QOL の維持向上のため、呼吸状況を見ながら、必要時は使用時間を増やしていく。			
使用時	☐ 24 時間 ☒ 7:00~21:00(就寝中) ☐ (その他条件)			
離脱可能時間	覚醒時 <u>120</u> 分程度 ・ 睡眠時 <u>60</u> 分程度			
着目すべきバイタルサインや 設定値 及び 傾向や必要な対処	☒ 酸素飽和度 (頻回に 96%を切る場合には、腹部の張りがある場合は、呑気と息止めが考えられるため、姿勢の変換等で、呼吸の再開を試みる。喘鳴があるようなら、吸引をする。それでも 15 分以上 96%を切るようなら、医師に状況を報告し指示を受けてほしい。) ☒ 毎分心拍 (通常 90~110 程度 120 を 15 分以上超えるようなら医師に状況を報告し指示を受けてほしい。) ☒ 一回換気量(画面表記 <u>Vt</u>) (通常 140ml 程度 120ml を頻回に切るようなら、痰の貯留を確認し、吸引の後、回復しなければ医師に状況を報告し指示を受けてほしい。) ☐ 分時換気量(画面表記 <u> </u>) (傾向と対処) その他あれば以下に記載 ☐ (傾向と対処) ☐ (傾向と対処) ☐ (傾向と対処) ☐ (傾向と対処)			
頻度が高い処理等	☒ 呼吸器回路の着脱、およびその際の警報音の処理 ☒ 呼吸器回路の途中への人工鼻の着脱、およびその際の警報音の処理 ☒ 呼吸器回路の結露水の処理(ウォータートラップの着脱含)、およびその際の警報音の処理 ☒ 人工呼吸器の電源切り替え、バッテリーの交換、およびその際の警報音の処理 ☒ バギングによる換気(必要時 <u>水泳学習</u> 最長 <u>10 分</u> まで) ☐ その他特に必要な対応等			
※必要ない場合はチェックを外してください。				
その他必要な留意点等				